

中小企業景況調査報告書

平成 22年 1月～3月 実績

平成 22年 4月～6月 予測

京都府商工会連合会

目 次

1. 中小企業景況調査の概要(京都府).....	2 ~ 3
2. 京都府内産業全体の景況.....	4 ~ 5
3. 製造業の景況.....	6 ~ 8
4. 建設業の景況.....	9 ~ 11
5. 小売業の景況.....	12 ~ 14
6. サービス業の景況.....	15 ~ 17

D・Iとは

この報告書の中で用いているD・I指数とは、デیفュ・ジョン・インデックスの略で、企業経営者の景気動向の度合いを表す指標として利用されています。

算出方法

増加（上昇・好転・長期化等）企業割合 - 減少（低下・悪化・短期化等）企業割合

D・Iが、プラス（+）値..... 強気（楽観）を表す。

D・Iが、マイナス（-）値..... 弱気（悲観）を表す。

例えば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減小企業20%の場合、

D・I指数は $50\% - 20\% = 30\%$

となり、経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

中小企業景況調査の概要 (京都府)

この調査は、商工会地域の産業の状況等地域の経済動向等について、四半期毎に変化の実態等諸状況を迅速・的確に収集把握して、経営改善普及事業の効果的な指導資料にするため、昭和54年度から全国商工会連合会と提携し、全国一斉に実施しているものです。

調査要領と、本年度の調査対象商工会及び調査回答企業数の内訳は次のとおりです。

1. 調査対象期間

平成22年1月～3月期を対象とし、調査実施時点は3月1日(月)、実施期間は2月24日(水)～3月2日(火)とした。

2. 調査の方法

- (1) 商工会の経営支援員の訪問による面接調査とした。
- (2) 調査対象商工会の選定は、管内ごとの市町村人口を勘案し、調査対象企業の抽出は、各業種・規模等の有意抽出法とした。

3. 調査対象商工会及び回答企業数 (調査対象企業数 150企業)

商工会名	製造業	回答数	建設業	回答数	小売業	回答数	サービス業	回答数	構成比
福知山市	3	3	3	2	4	4	5	5	93.3%
八幡市	3	3	3	3	4	4	5	5	100.0%
京丹後市	6	6	6	6	9	9	9	9	100.0%
南丹市	3	3	3	3	4	4	5	4	93.3%
大山崎町	3	2	3	3	4	4	5	5	93.3%
井手町	4	3	3	3	5	5	3	2	86.7%
宇治田原町	3	3	3	2	4	4	5	5	93.3%
木津川市木津町	3	3	3	3	5	5	4	4	100.0%
京丹波町	3	2	3	2	4	3	5	5	80.0%
合計	31	28	30	27	43	42	46	44	94.0%

対象業種別構成等

	業 種 別	対象企業数	構 成 比	回答企業数	回 答 率
製造業	09 食 料 品 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	10 飲 料 ・ た ば こ ・ 飼 料 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	11 織 維 工 業	7	22.6%	7	100.0%
	13 家 具 ・ 装 備 品 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	15 印 刷 ・ 同 関 連 業	2	6.5%	2	100.0%
	16 化 学 工 業	1	3.2%	1	100.0%
	18 プ ラ ス チ ッ ク 製 品 製 造 業	3	9.7%	3	100.0%
	21 窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	23 非 鉄 金 属 製 造 業	1	3.2%	0	0.0%
	24 金 属 製 品 製 造 業	8	25.8%	7	87.5%
	26 生 産 用 機 械 器 具 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	27 業 務 用 機 械 器 具 製 造 業	1	3.2%	0	0.0%
	31 輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業	2	6.5%	2	100.0%
	32 そ の 他 の 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	小 計	31	20.7%	28	90.3%
建設業	06 総 合 工 事 業	21	70.0%	18	85.7%
	07 職 別 工 事 業	2	6.7%	2	100.0%
	08 設 備 工 事 業	7	23.3%	7	100.0%
		小 計	30	20.0%	27
小売業	56 各 種 商 品 小 売 業	1	2.3%	1	100.0%
	57 織 物 ・ 衣 服 ・ 身 の 回 り 品 小 売 業	6	11.8%	6	100.0%
	58 飲 食 料 品 小 売 業	20	46.5%	19	95.0%
	59 機 械 器 具 小 売 業	7	16.3%	7	100.0%
	60 そ の 他 の 小 売 業	9	20.9%	9	100.0%
		小 計	43	28.7%	42
サービス業	44 道 路 貨 物 運 送 業	1	2.2%	1	100.0%
	68 不 動 産 取 引 業	1	2.2%	1	100.0%
	72 専 門 サ ー ビ ス 業	2	4.3%	2	100.0%
	74 技 術 サ ー ビ ス 業	2	4.3%	2	100.0%
	75 宿 泊 業	2	4.3%	2	100.0%
	76 飲 食 店	13	28.3%	12	92.3%
	78 洗 濯 ・ 理 容 ・ 美 容 ・ 浴 場 業	15	32.6%	15	100.0%
	79 そ の 他 の 生 活 関 連 サ ー ビ ス 業	1	2.2%	1	100.0%
	88 廃 棄 物 処 理 業	2	4.3%	2	100.0%
	89 自 動 車 整 備 業	6	13.0%	6	100.0%
	92 そ の 他 の 事 業 の サ ー ビ ス 業	1	2.2%	0	0.0%
	小 計	46	30.7%	44	95.7%
合 計		150	100.0%	141	94.0%

* 対象業種区分は「平成21年度中小企業景況調査実施要領」による。

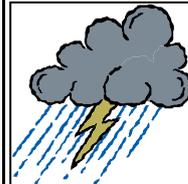
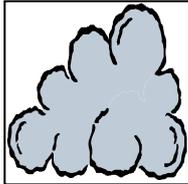
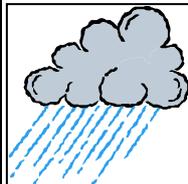
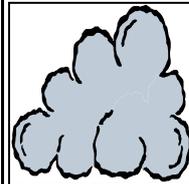
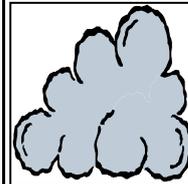
京都府内産業全体の景況

(概要)

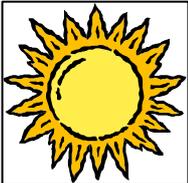
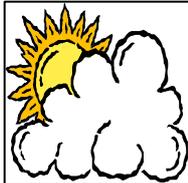
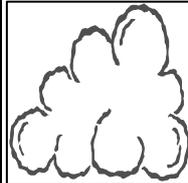
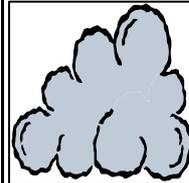
売上高は、小売業に若干の改善が見られたが、他の業種については全て横ばいの状況となっている。採算についてはサービス業を除くすべての業種で多少の改善が見られるが、依然厳しい状況が続いている。

来期の売上高の見通しについては、自動車関連の製造業において引き続き改善が見込まれるが、他の業種については、前年同期比で悪化としている企業割合が多くなっている。

業種別景況指標 (景気の天気図)

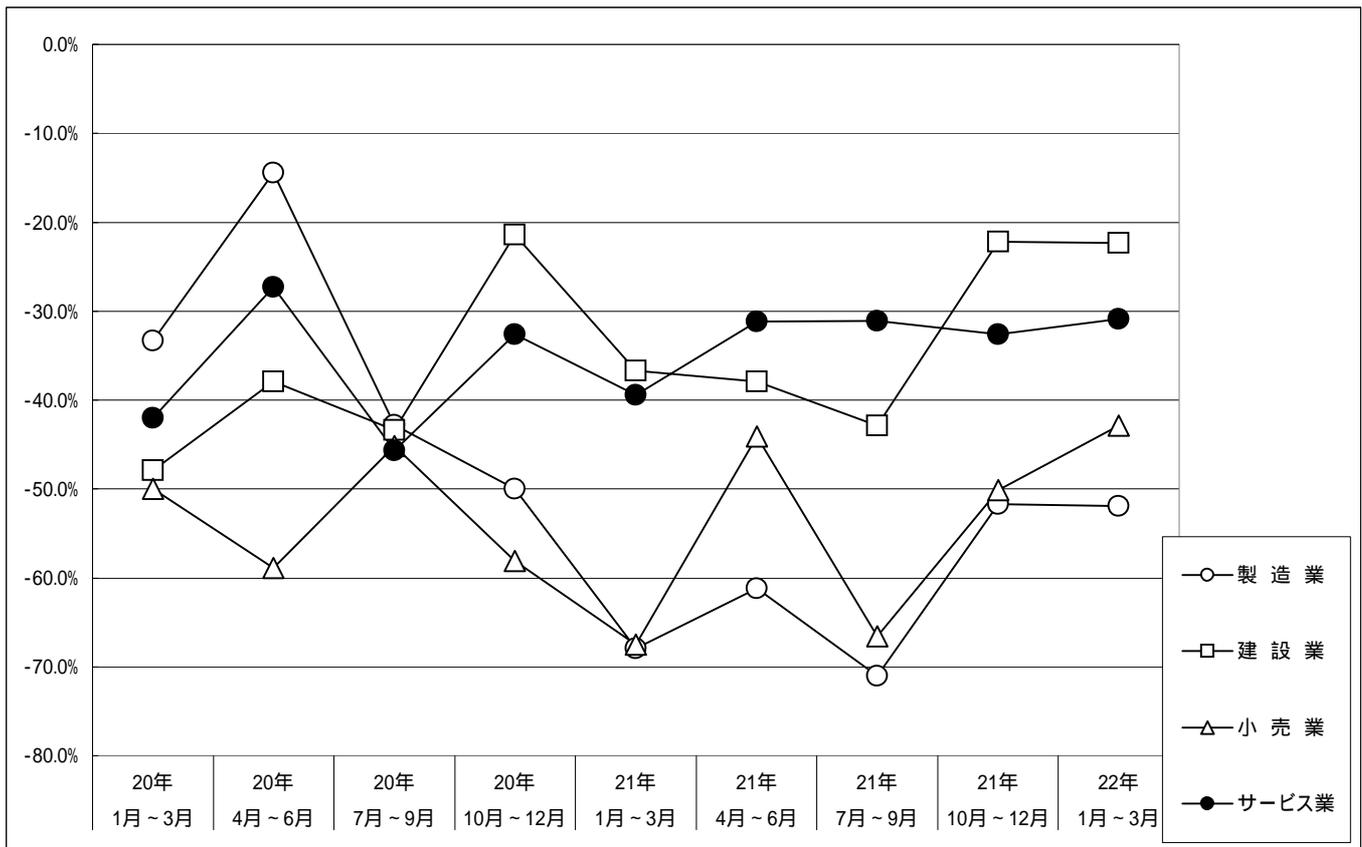
	21年 1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	22年 1月～3月	(見通し) 4月～6月
製造業						
建設業						
小売業						
サービス業						

天気図のよみ方

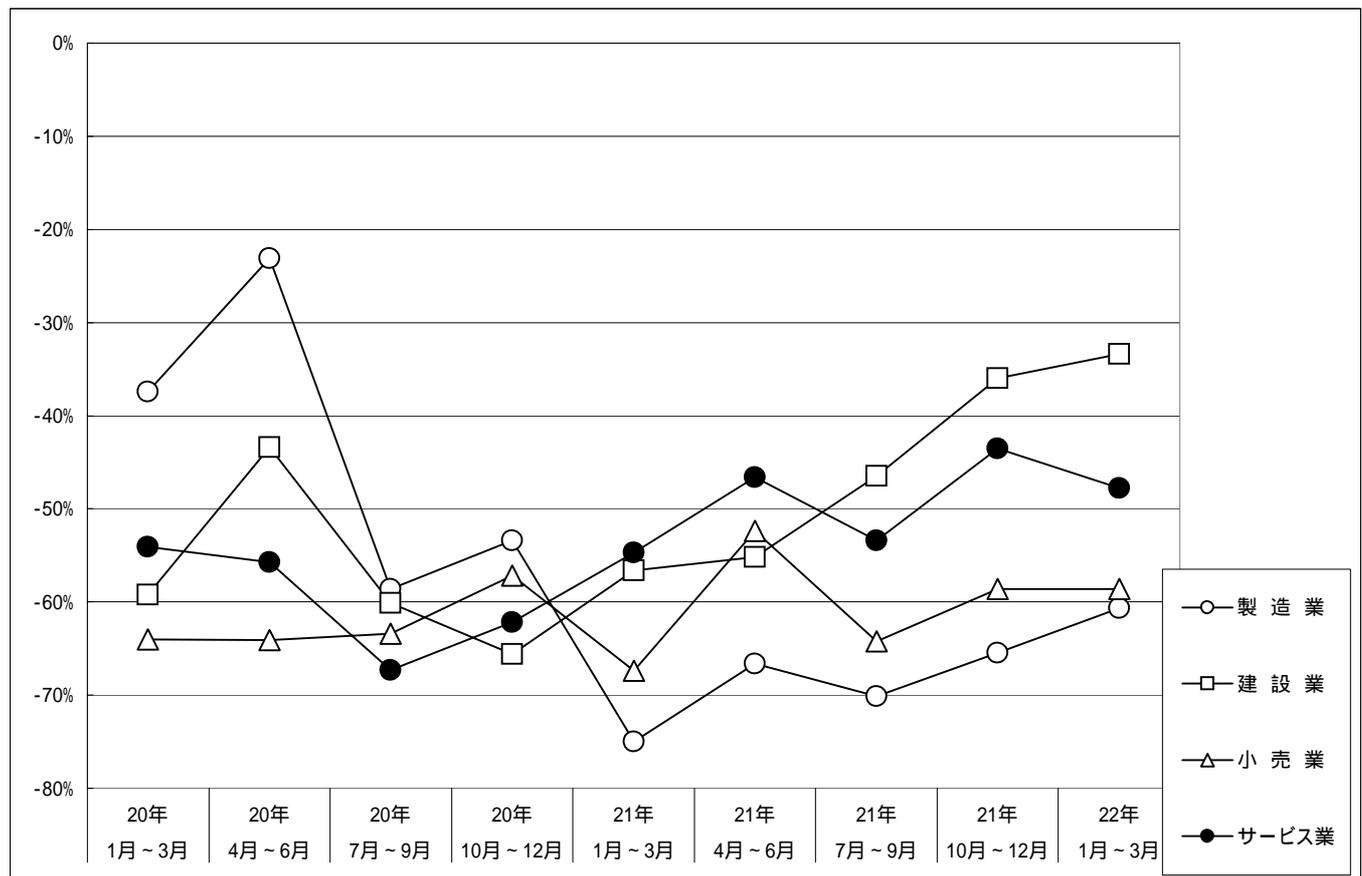
D・I値	50.1～100.0	25.1～50.0	0.1～25.0	0.0～25.0	25.1～50.0	50.1～100
指標						
内容	特に好転	好転	やや好転	やや悪化	悪化	特に悪化

2.売上高と採算の推移

売上高D・I (景気動向指数) の推移 - 前年同期比 -



採算D・I (景気動向指数) の推移 前年同期比



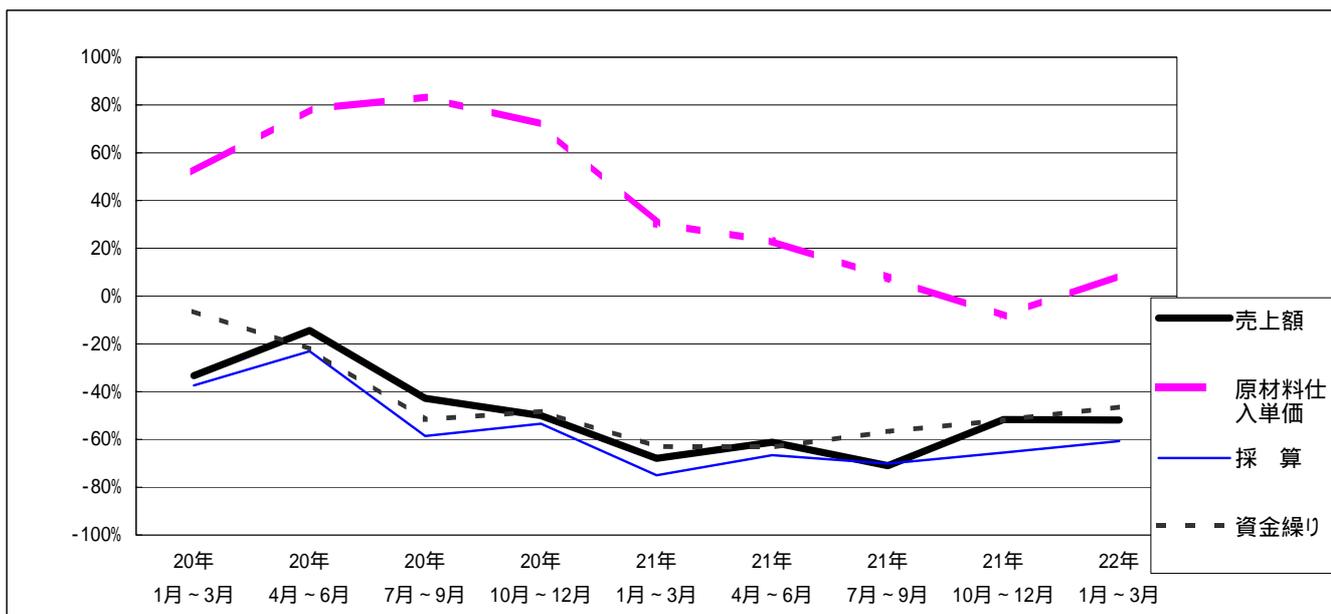
3. 製造業の景況

製造業の推移

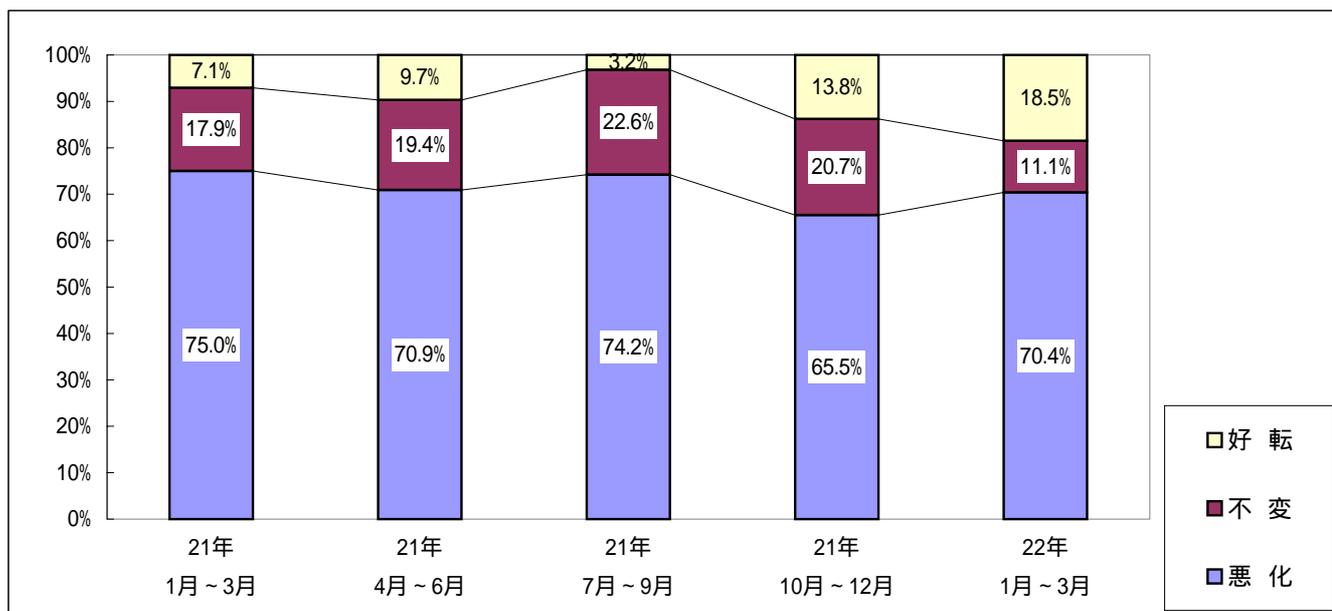
D・I（景気動向指数・前年同期比）は、売上額がマイナス51.9（前期比0.2ポイント低下）と横ばいになった。採算はマイナス60.7（同4.8ポイント上昇）、資金繰りは3期連続で改善されるもマイナス46.4（同5.5ポイント上昇）と厳しい状況が続いている。しかし、一部売上げを伸ばす企業もある。新たなニーズに対応すべく生産ロボットを導入した企業。インターネット通販に参加し、新たな顧客発掘した企業など、二極化が見られる。

製造業	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月	21年 10月～12月	22年 1月～3月	22年 4月～6月
売上額	-67.9%	-61.2%	-71.0%	-51.7%	-51.9%	-22.2%
原材料仕入単価	30.4%	23.1%	7.7%	-8.3%	8.7%	39.2%
採算	-75.0%	-66.6%	-70.1%	-65.5%	-60.7%	-48.2%
資金繰り	-63.0%	-63.3%	-56.7%	-51.9%	-46.4%	-37.0%

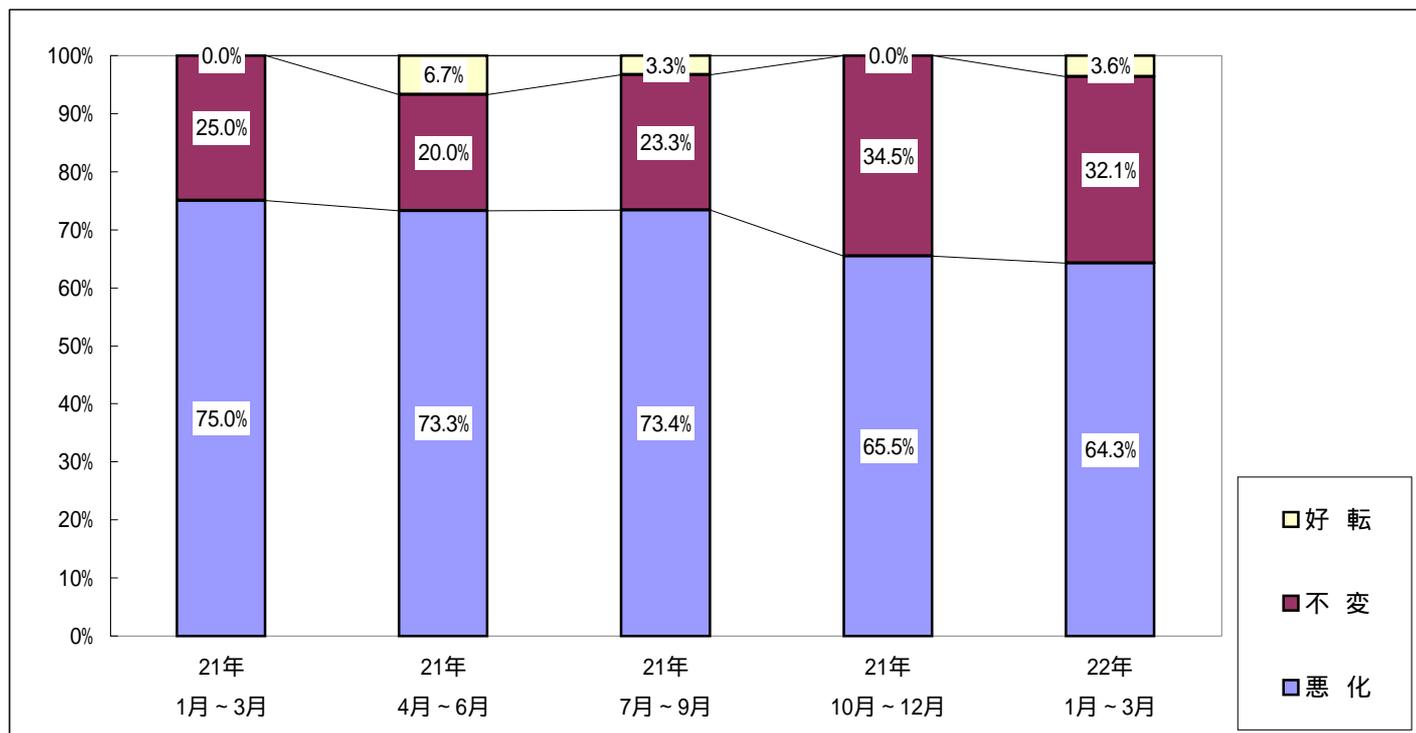
製造業 D・I（景気動向指数）の推移 - 前年同期比 -



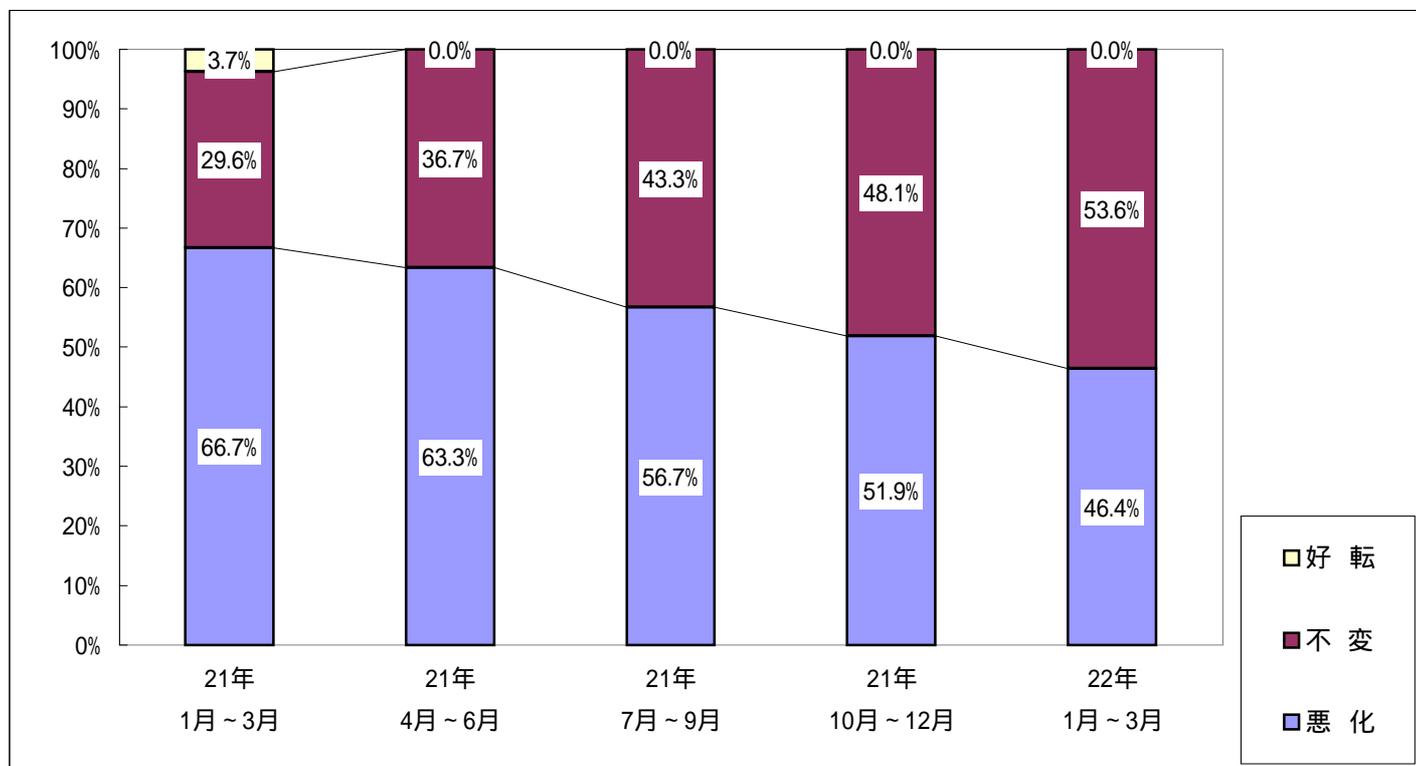
売上（加工）額の状況 前年同期比（D・I値）



採算の状況 前年同期比 (D・I値)



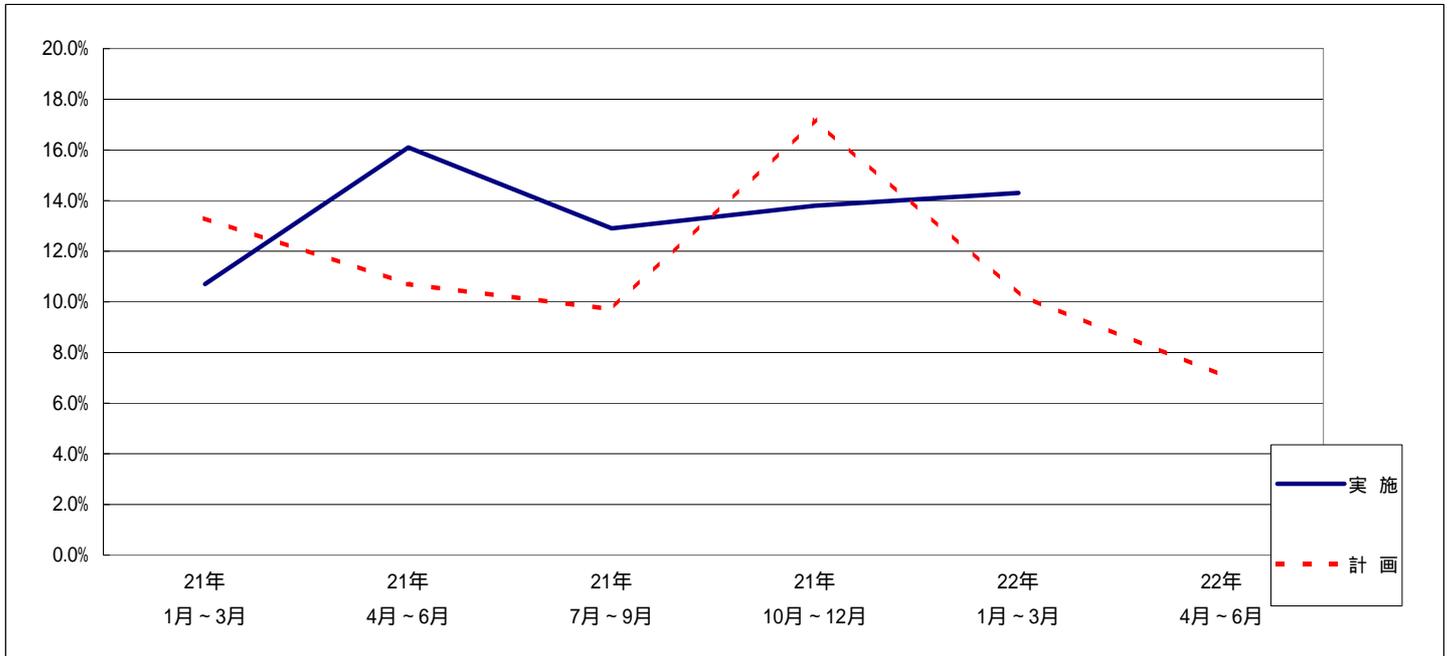
資金繰りの状況 前年同期比 (D・I値)



設備投資の状況

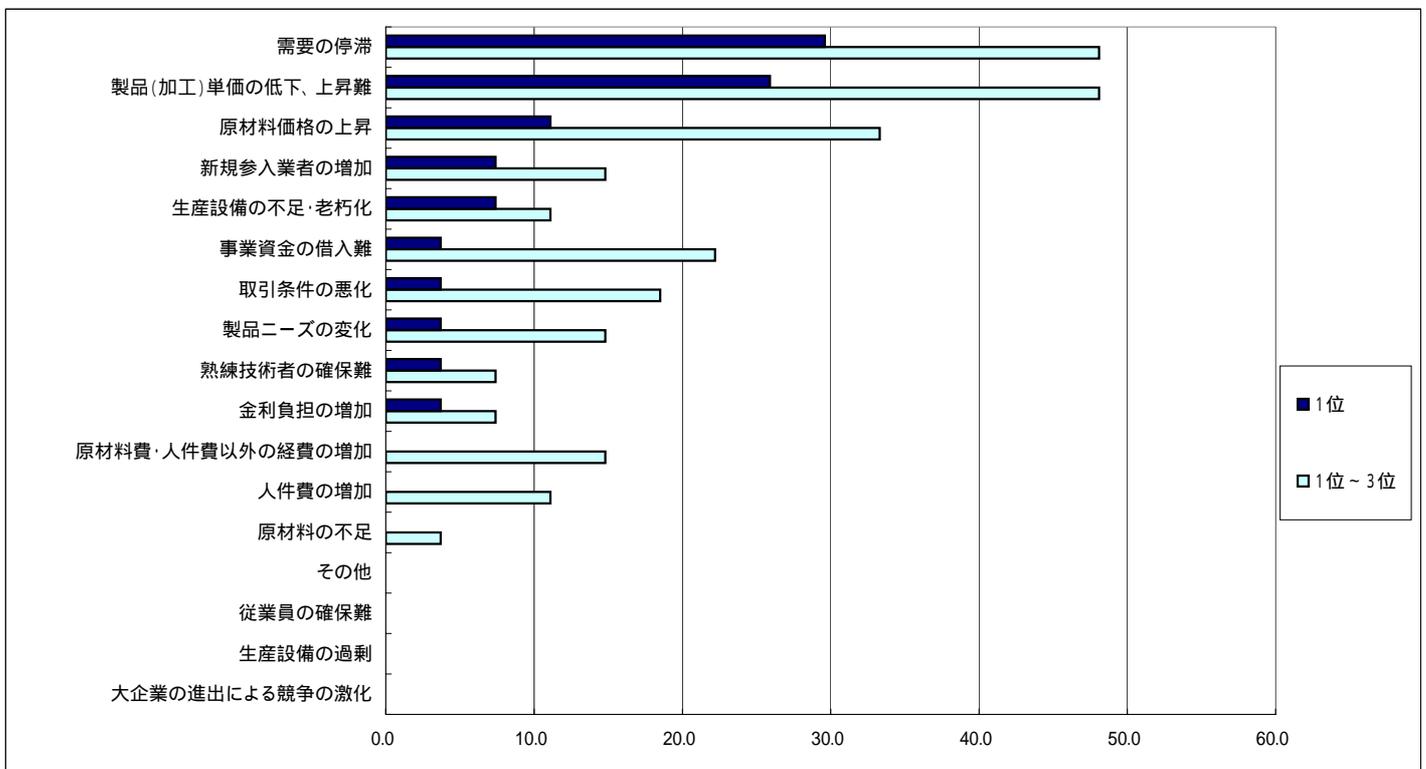
製造業	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月	21年 10月～12月	22年 1月～3月	22年 4月～6月
土地	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%
車両・運搬具	0.0%	60.0%	25.0%	50.0%	25.0%	50.0%
生産設備	66.7%	60.0%	75.0%	100.0%	100.0%	50.0%

22年1月～3月期については計画の数値を入力



計画については調査実施時期を基準に翌期の予定を記入のため折線グラフに期の差が生じる。

経営上の問題点



(注)問題点の1位にあげた企業の割合

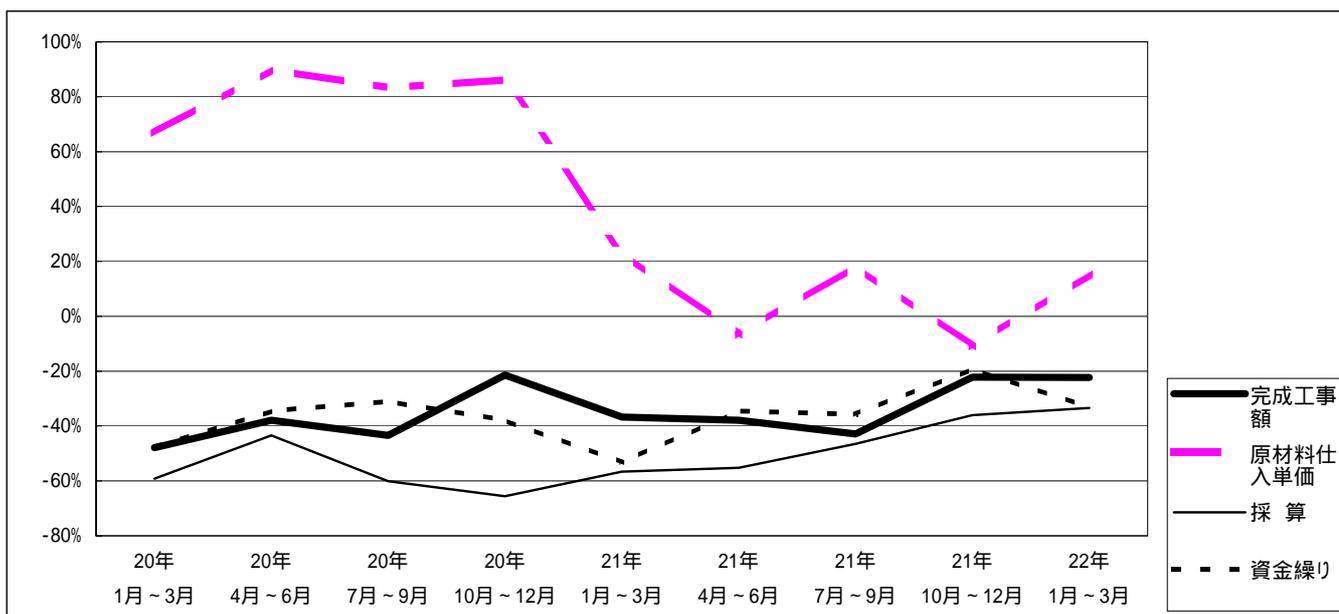
4. 建設業の景況

建設業の推移

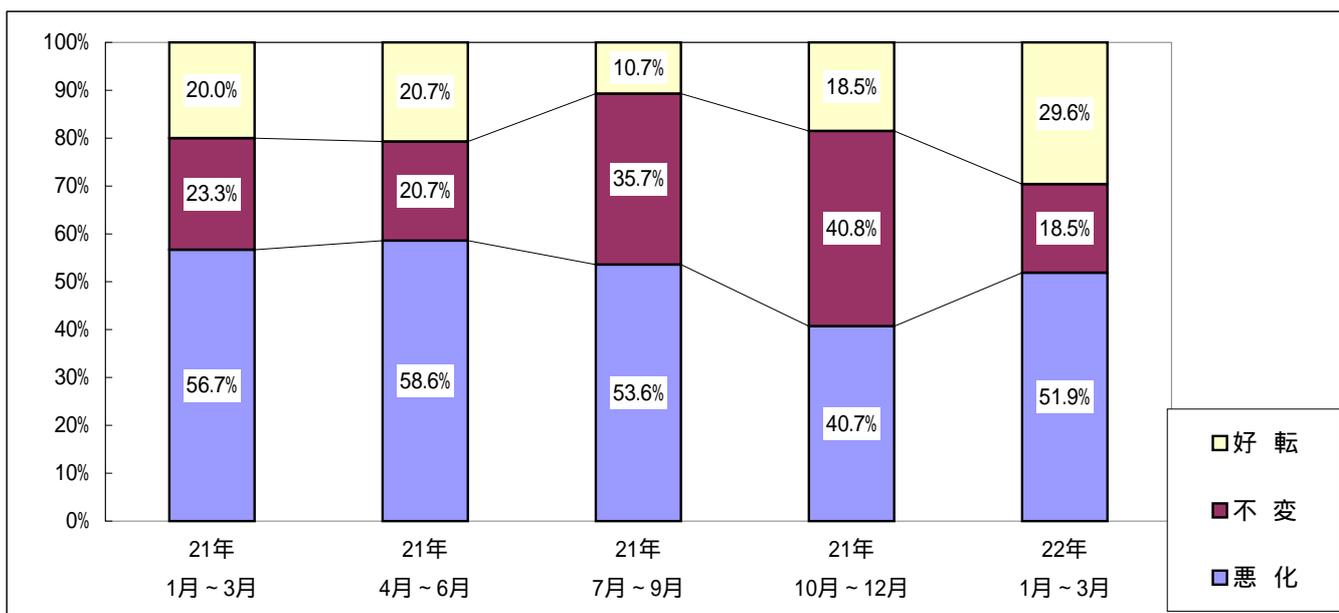
D・I（景気動向指数・前年同期比）は、完成工事額がマイナス22.3（前期比0.1ポイント低下）と横ばいになり、採算はマイナス33.4（同2.6ポイント上昇）と5期連続改善された。しかし、資金繰りはマイナス33.3（同14.1ポイント低下）となり前期改善分を戻すかたちとなった。今期は年度末需要などの季節的要因により、改善した企業と、さらに悪化した企業数がともに増加し、不変が減少する結果となった。

建設業	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月	21年 10月～12月	22年 1月～3月	22年 4月～6月
完成工事額	-36.7%	-37.9%	-42.9%	-22.2%	-22.3%	-61.5%
原材料仕入単価	23.4%	-6.9%	18.5%	-11.1%	15.4%	3.9%
採算	-56.6%	-55.2%	-46.5%	-36.0%	-33.4%	-61.6%
資金繰り	-53.3%	-34.5%	-35.7%	-19.2%	-33.3%	-42.4%

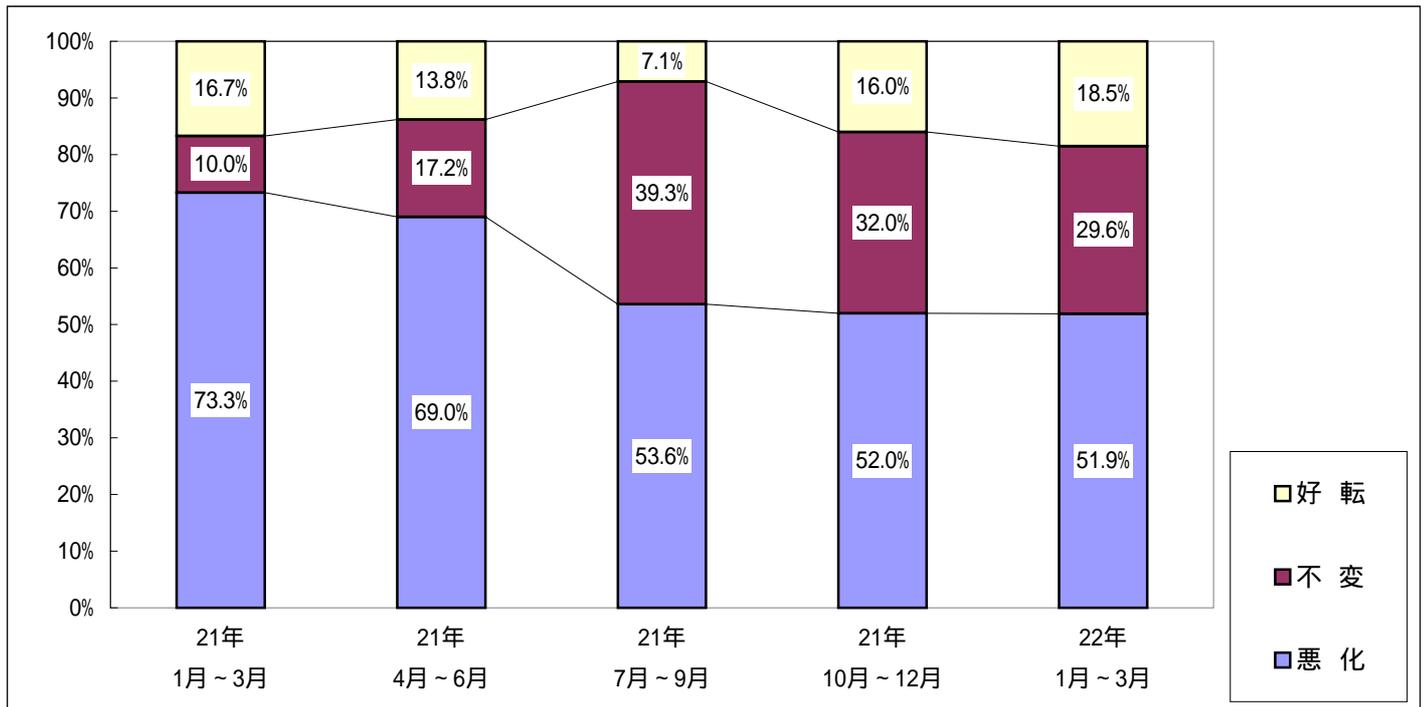
建設業 D・I（景気動向指数）の推移 - 前年同期比 -



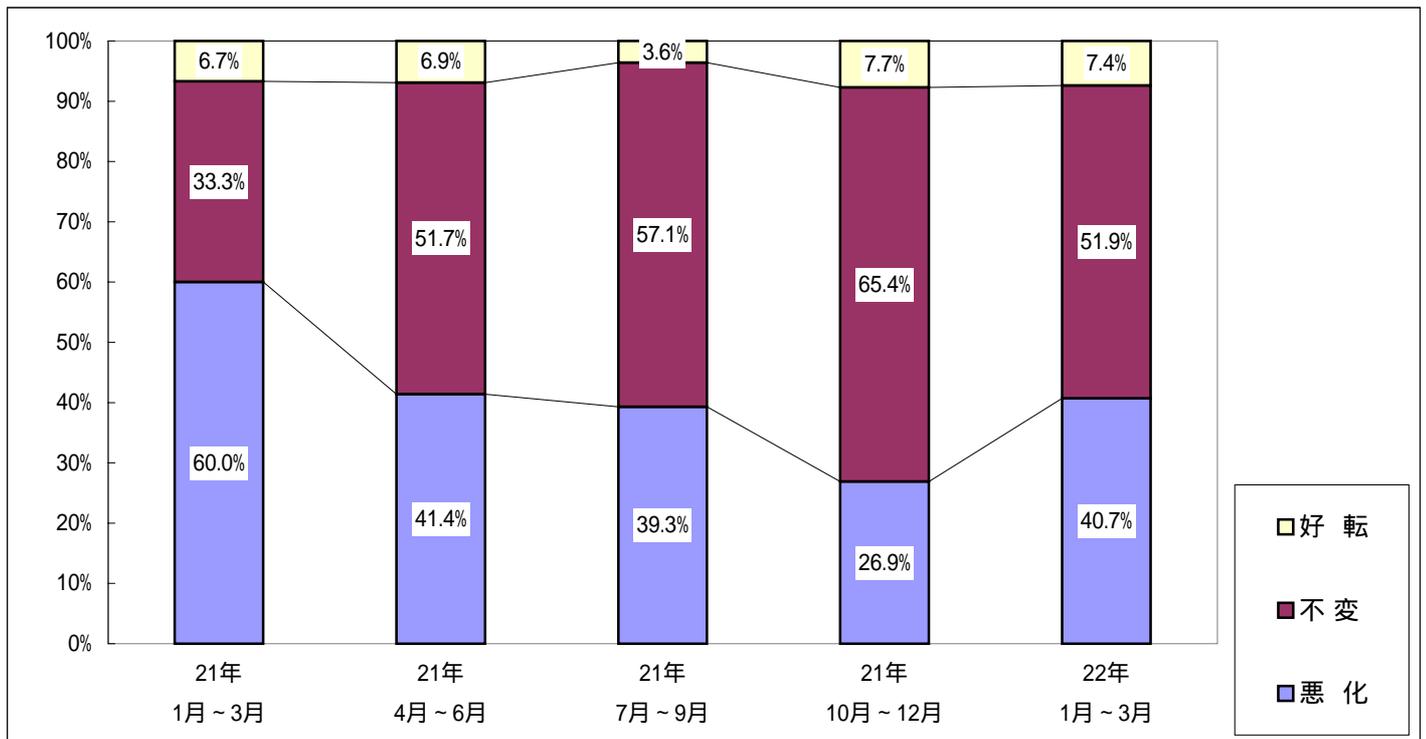
完成工事額の状況 前年同期比（D・I値）



採算の状況 前年同期比 (D・I値)



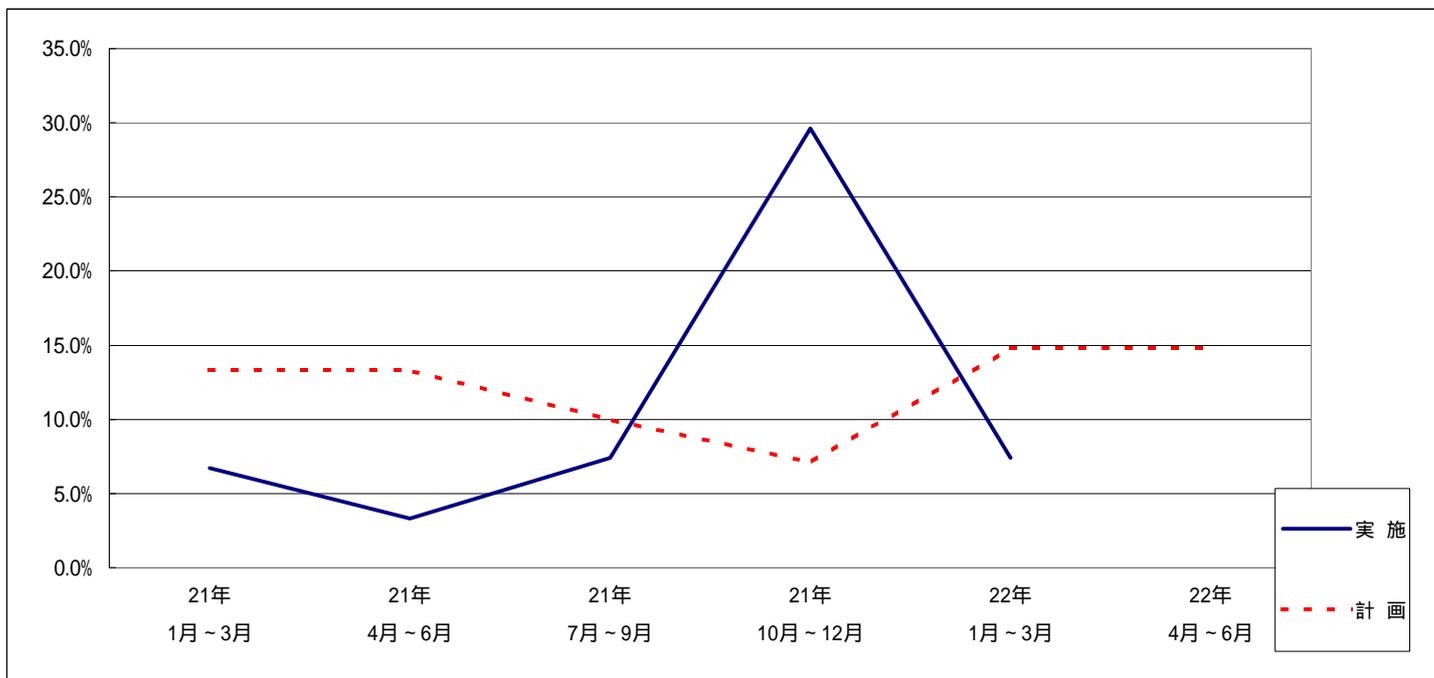
資金繰りの状況 前年同期比 (D・I値)



設備投資の状況

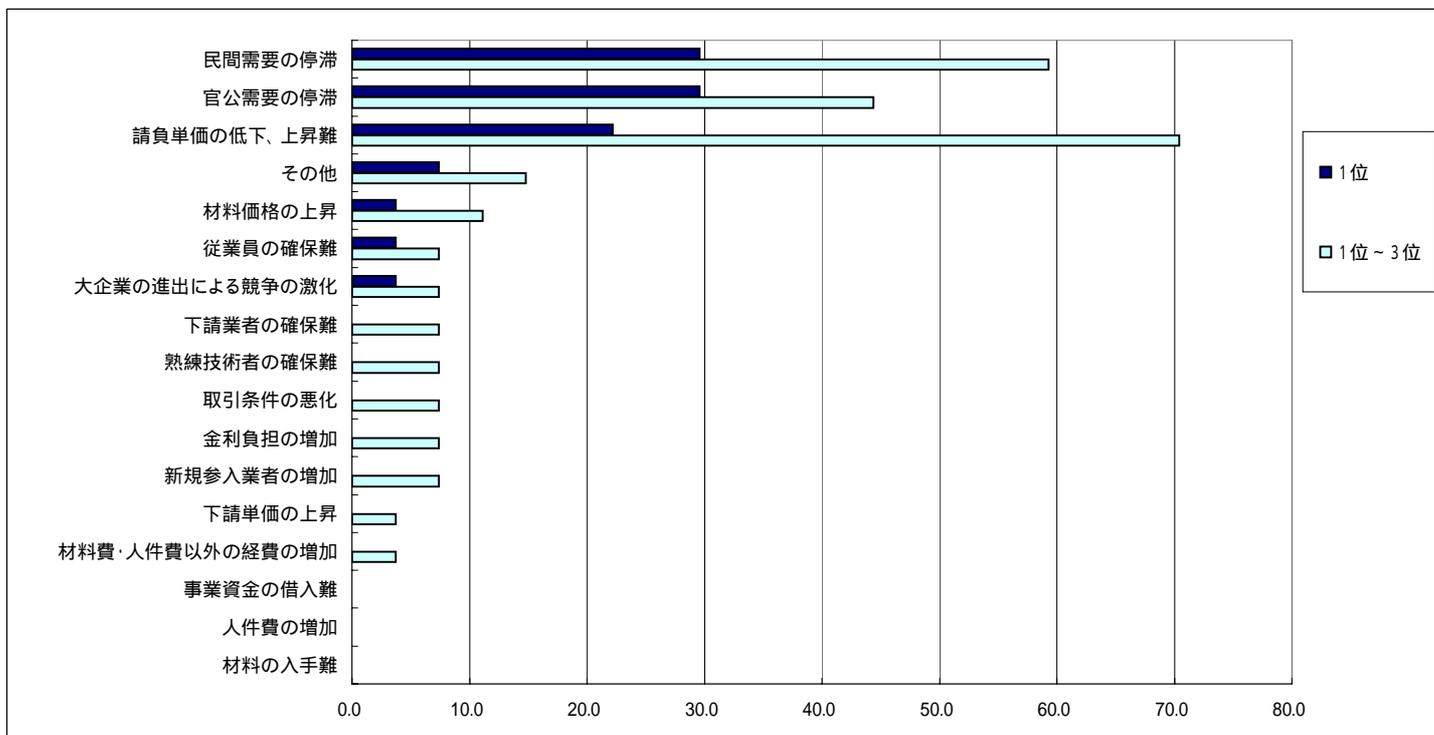
建設業	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月	21年 10月～12月	22年 1月～3月	22年 4月～6月
土地	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
車両・運搬具	50.0%	100.0%	50.0%	37.5%	50.0%	25.0%
建設機械	0.0%	0.0%	50.0%	12.5%	50.0%	25.0%

22年1月～3月期については計画の数値を入力



計画については調査実施時期を基準に翌期の予定を記入のため折線グラフに期の差が生じる。

経営上の問題点



(注)問題点の1位にあげた企業の割合

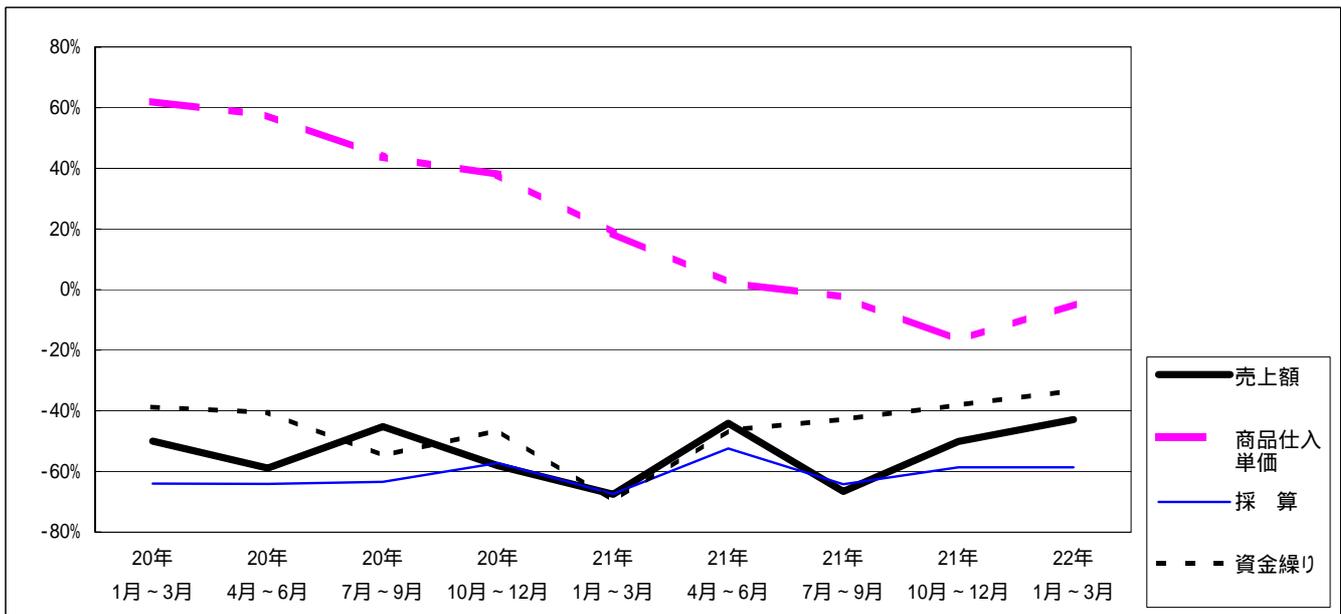
5. 小売業の景況

小売業の推移

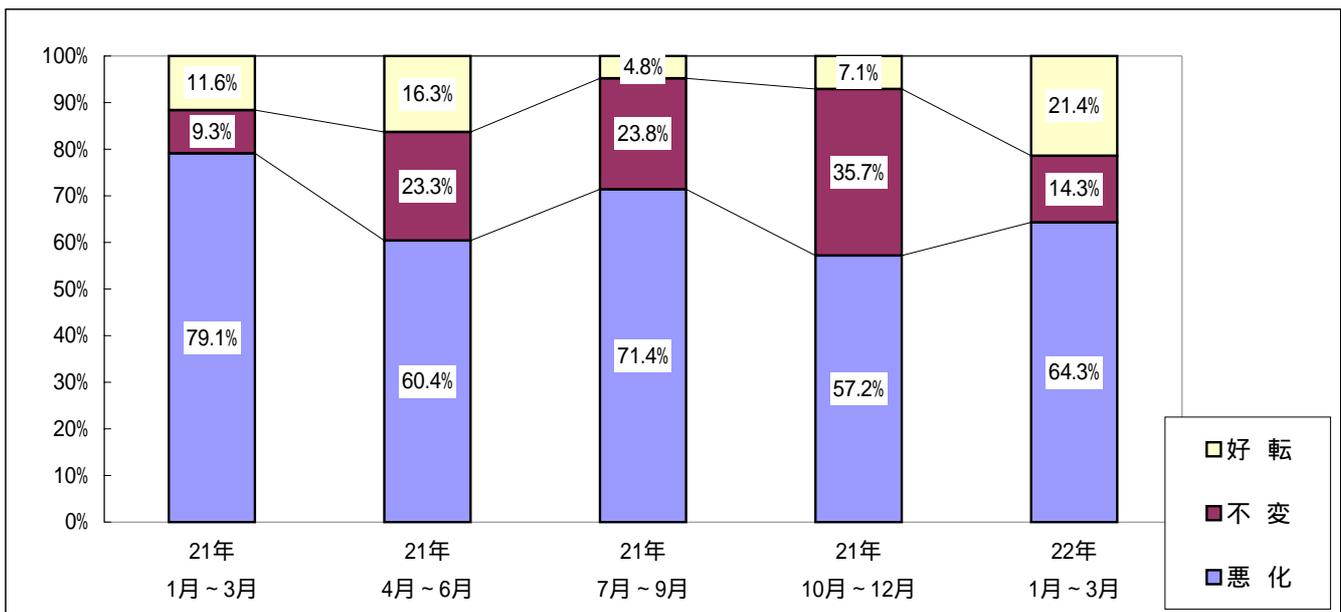
D・I（景気動向指数・前年同期比）は、売上額がマイナス42.9（前期比7.2ポイント上昇）となった。採算はマイナス58.6（同プラス、マイナス0.0ポイント）の横ばい、資金繰りはマイナス33.3（同4.8ポイント上昇）と、4期連続改善されている。今期はエコポイント制度による家電販売の売上げが好調で、特に3月末よりエコ対象商品が減少する薄型テレビの駆け込み需要が増加している。

小売業	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月	21年 10月～12月	22年 1月～3月	22年 4月～6月
売上額	-67.5%	-44.1%	-66.6%	-50.1%	-42.9%	-51.1%
商品仕入単価	18.6%	2.3%	-2.4%	-16.7%	-4.8%	-5.0%
採算	-67.4%	-52.4%	-64.2%	-58.6%	-58.6%	-60.0%
資金繰り	-69.8%	-46.4%	-42.8%	-38.1%	-33.3%	-36.6%

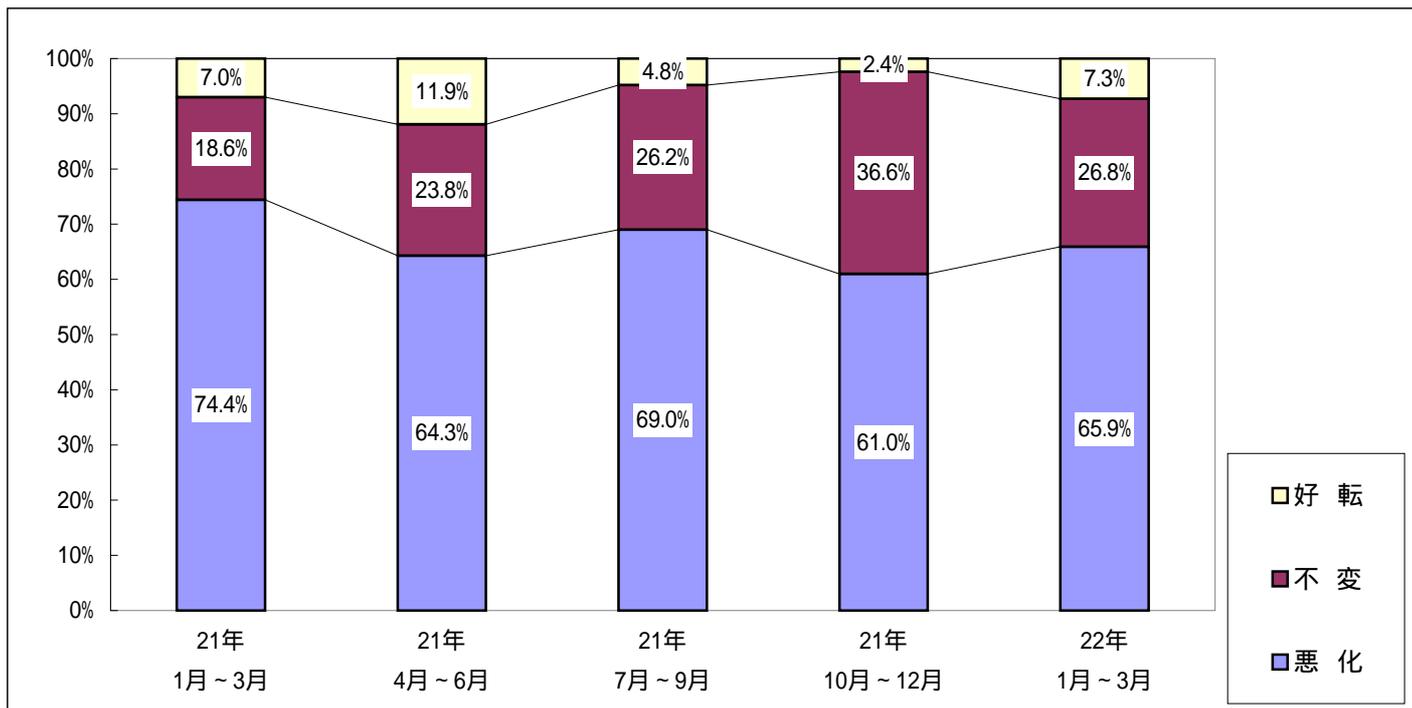
小売業 D・I（景気動向指数）の推移 - 前年同期比 -



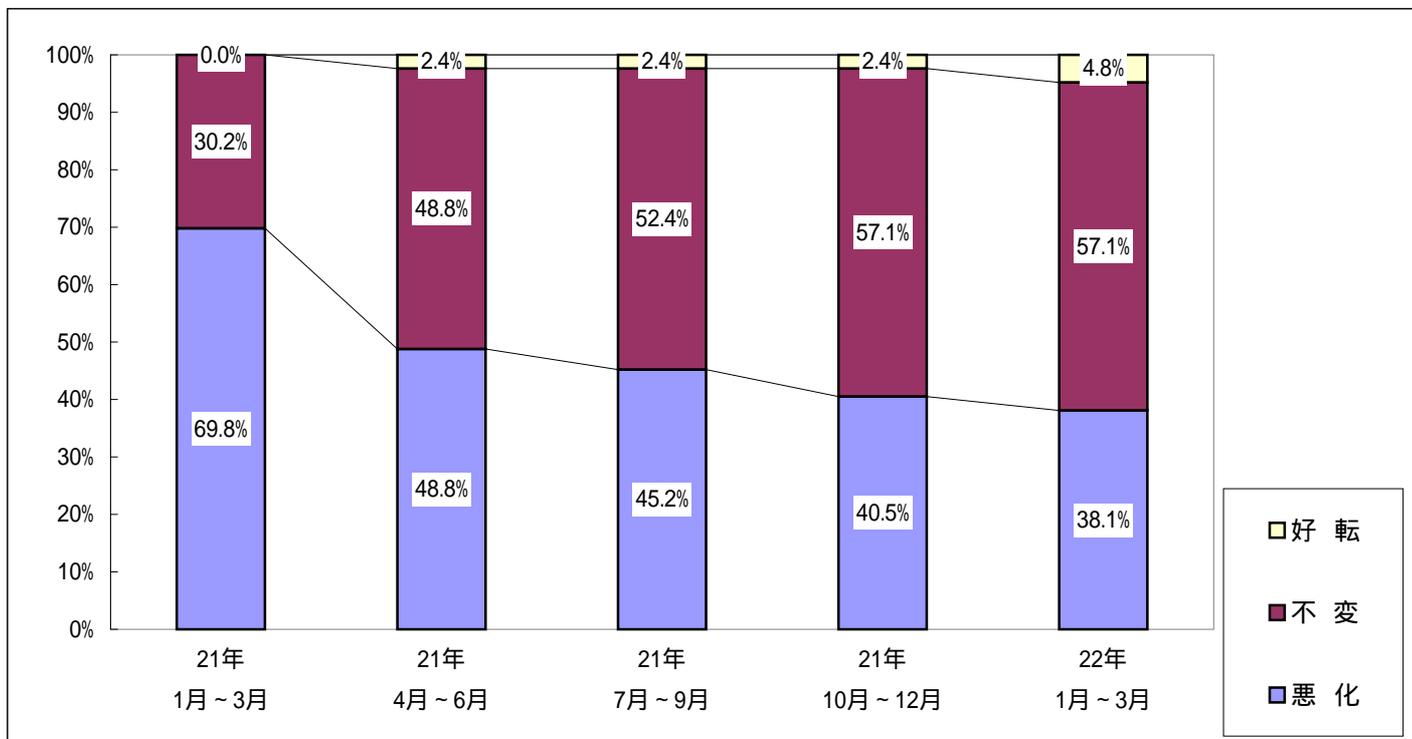
売上額の状況 前年同期比（D・I値）



採算の状況 前年同期比（D・I値）



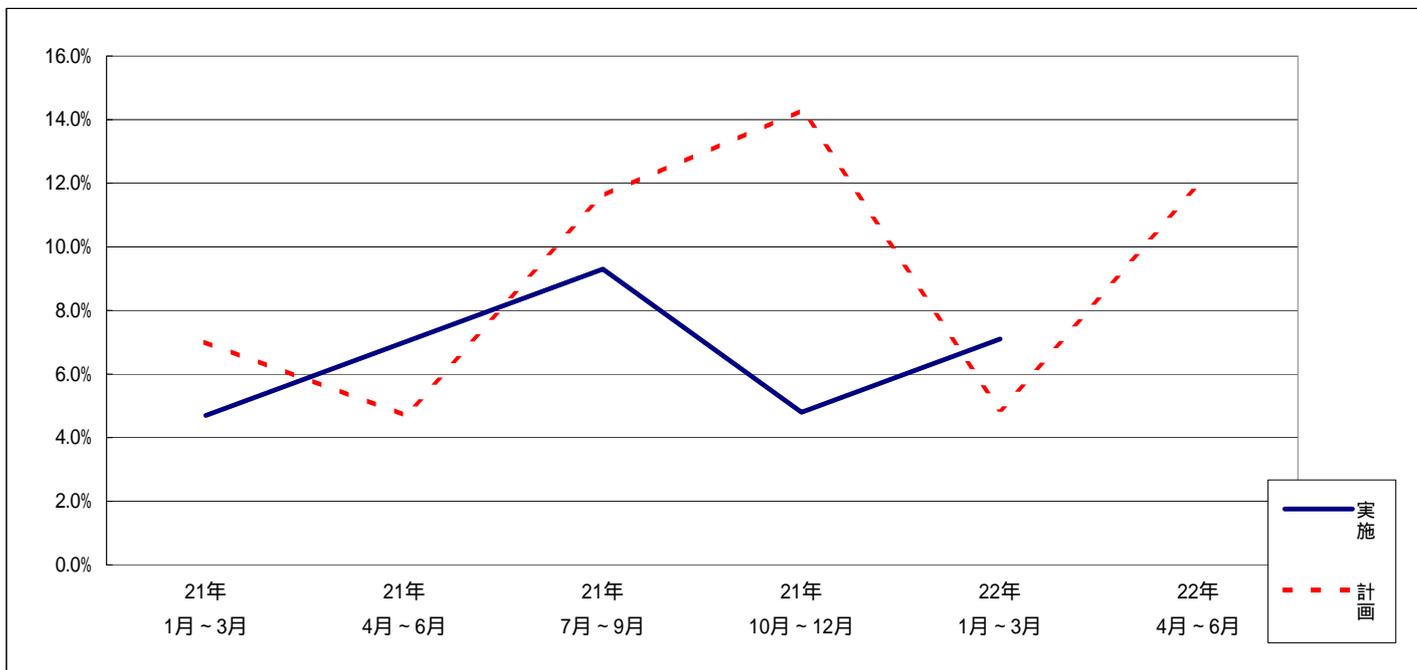
資金繰りの状況 前年同期比（D・I値）



設備投資の状況

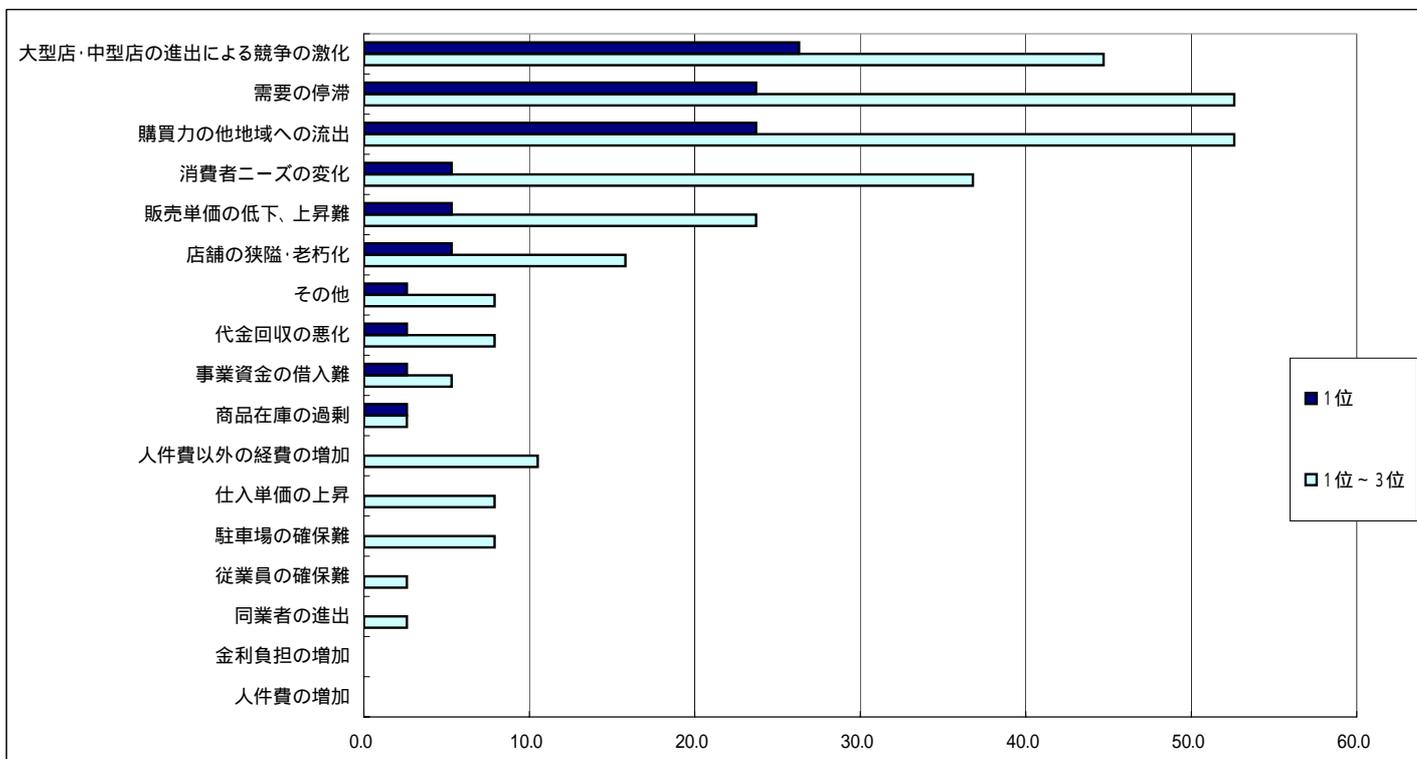
小 売 業	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月	21年 10月～12月	22年 1月～3月	22年 4月～6月
土 地	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
車両・運搬具	100.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
販売設備	50.0%	66.7%	50.0%	0.0%	33.3%	60.0%

22年1月～3月期については計画の数値を入力



計画については調査実施時期を基準に翌期の予定を記入のため折線グラフに期の差が生じる。

経営上の問題点



(注) 問題点の1位にあげた企業の割合

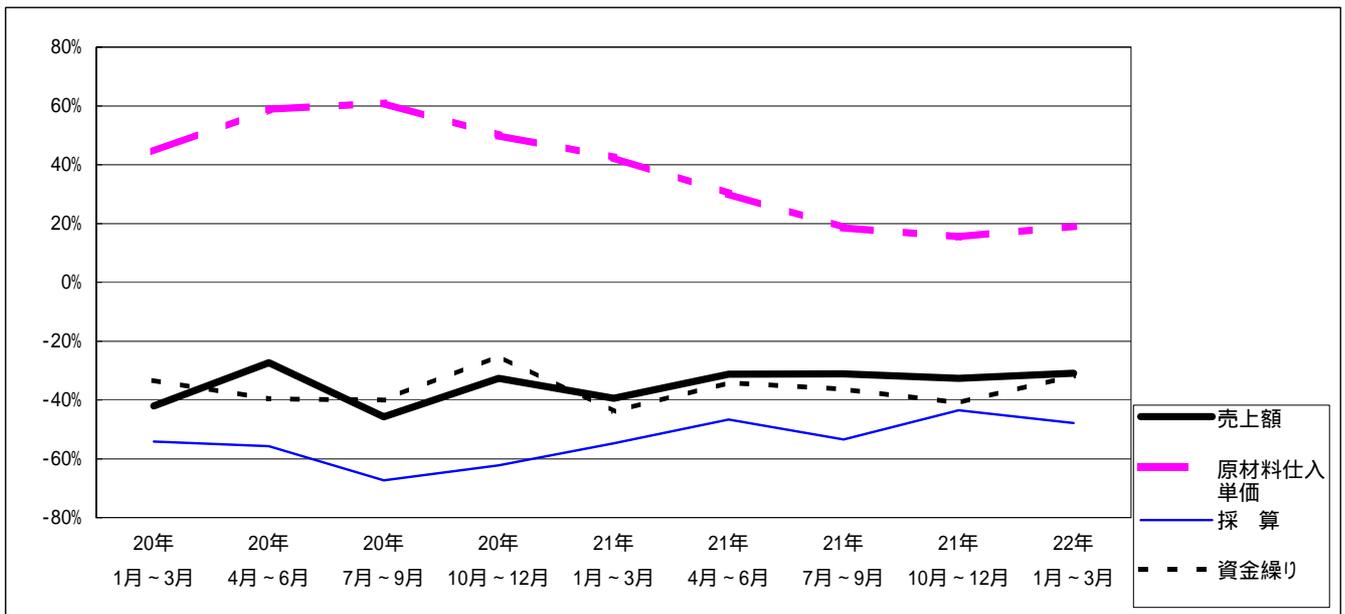
6. サービス業の景況

サービス業の推移

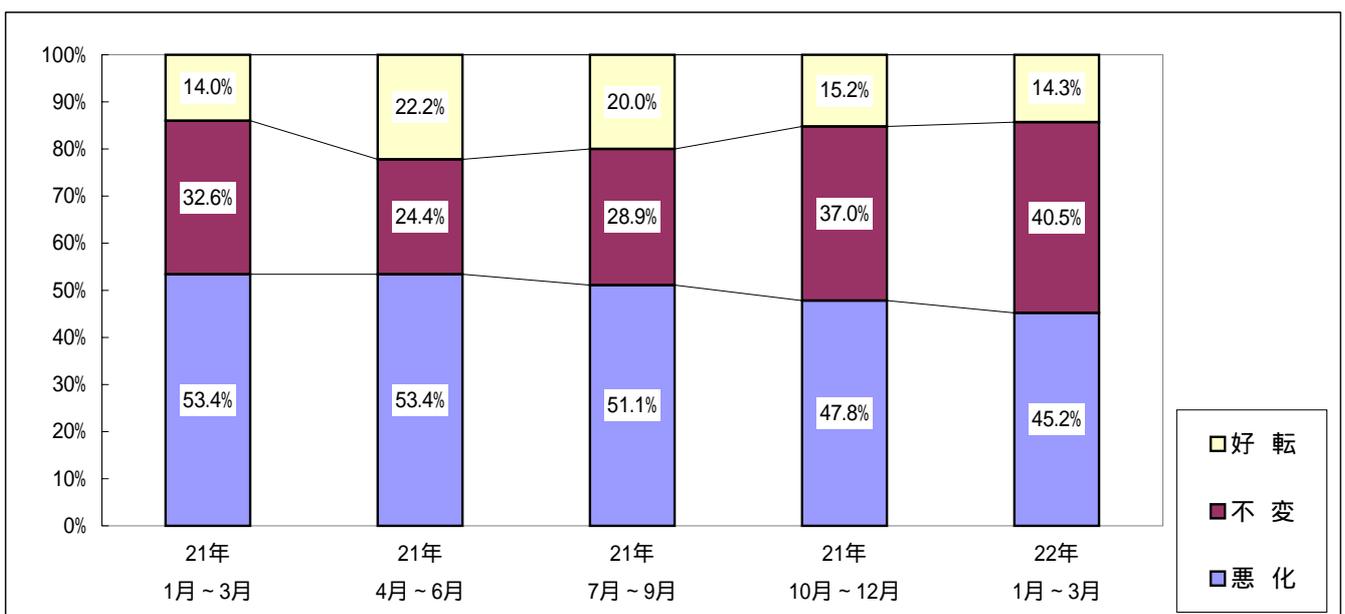
D・I（景気動向指数・前年同期比）は、売上額がマイナス30.9（前期比1.7ポイント上昇）、採算はマイナス47.8（同4.3ポイント低下）、資金繰りはマイナス31.7（同9.2ポイント上昇）となったが厳しい状況が続いている。特に理容・美容については非常に厳しく、その要因として1位に需要の停滞が揚げられるが、その他に顧客の高齢化が進む一方、利用者ニーズの変化への対応不足、また、大手及び新規参入業者の増加に売上げの減少に歯止めが利かない状況にある。

サービス業	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月	21年 10月～12月	22年 1月～3月	22年 4月～6月
売上額	-39.4%	-31.2%	-31.1%	-32.6%	-30.9%	-36.4%
原材料仕入単価	42.5%	30.2%	18.6%	15.5%	19.1%	10.0%
採算	-54.7%	-46.6%	-53.4%	-43.5%	-47.8%	-44.1%
資金繰り	-43.9%	-34.1%	-36.3%	-40.9%	-31.7%	-25.0%

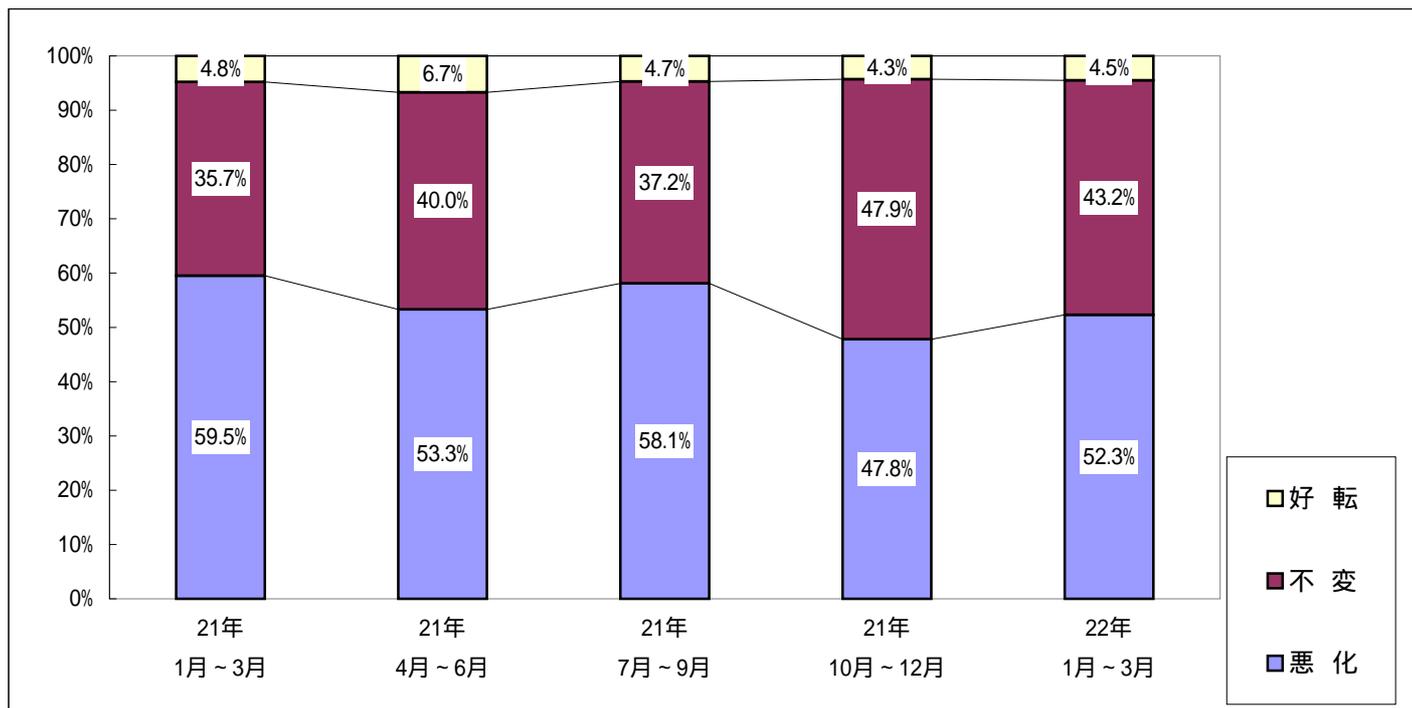
サービス業 D・I（景気動向指数）の推移 - 前年同期比 -



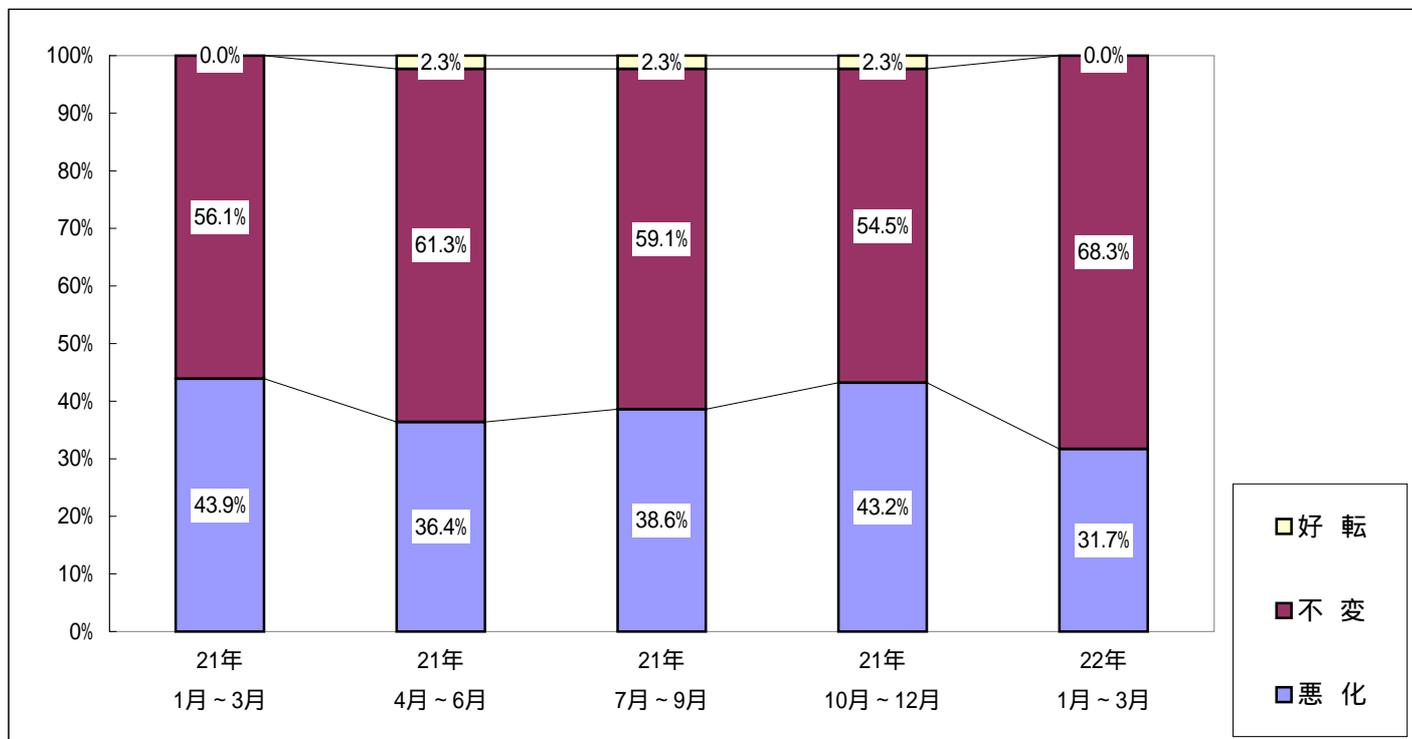
売上（収入）額の状況 前年同期比（D・I値）



採算の状況 前年同期比（D・I値）



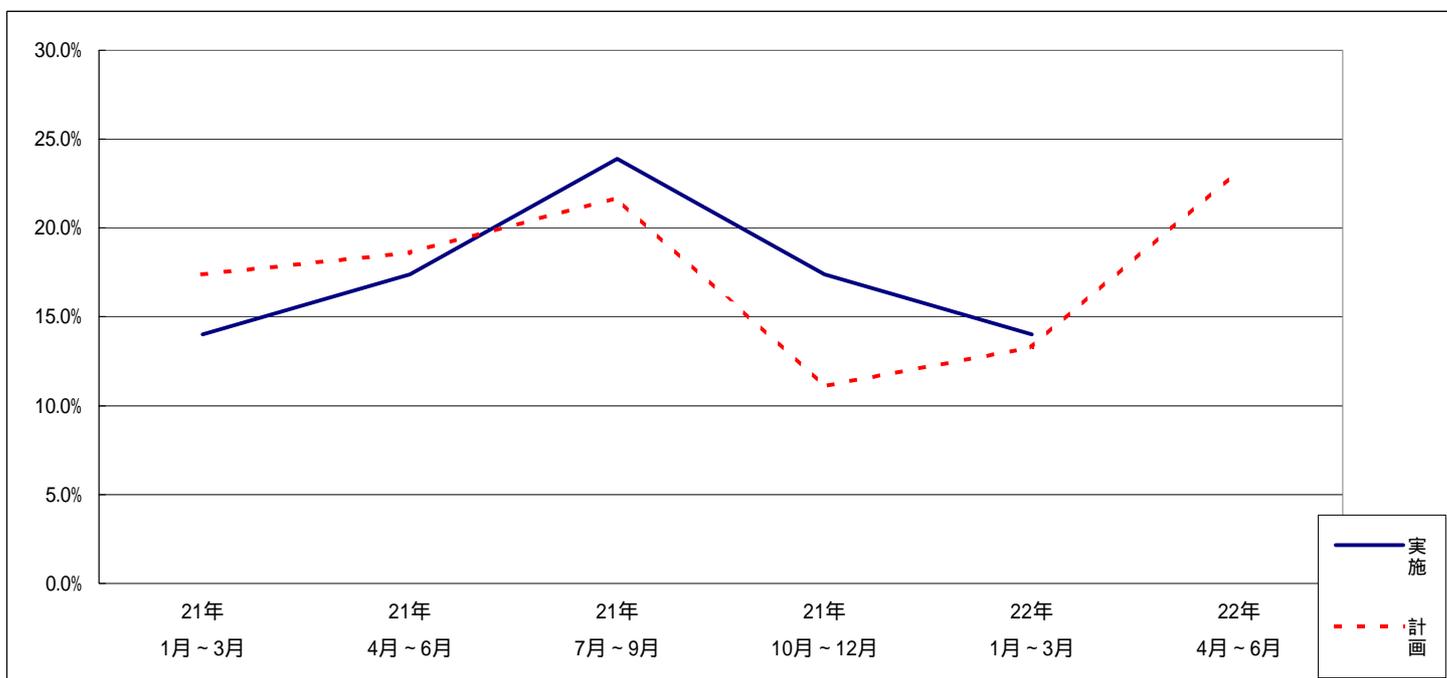
資金繰りの状況 前年同期比（D・I値）



設備投資の状況

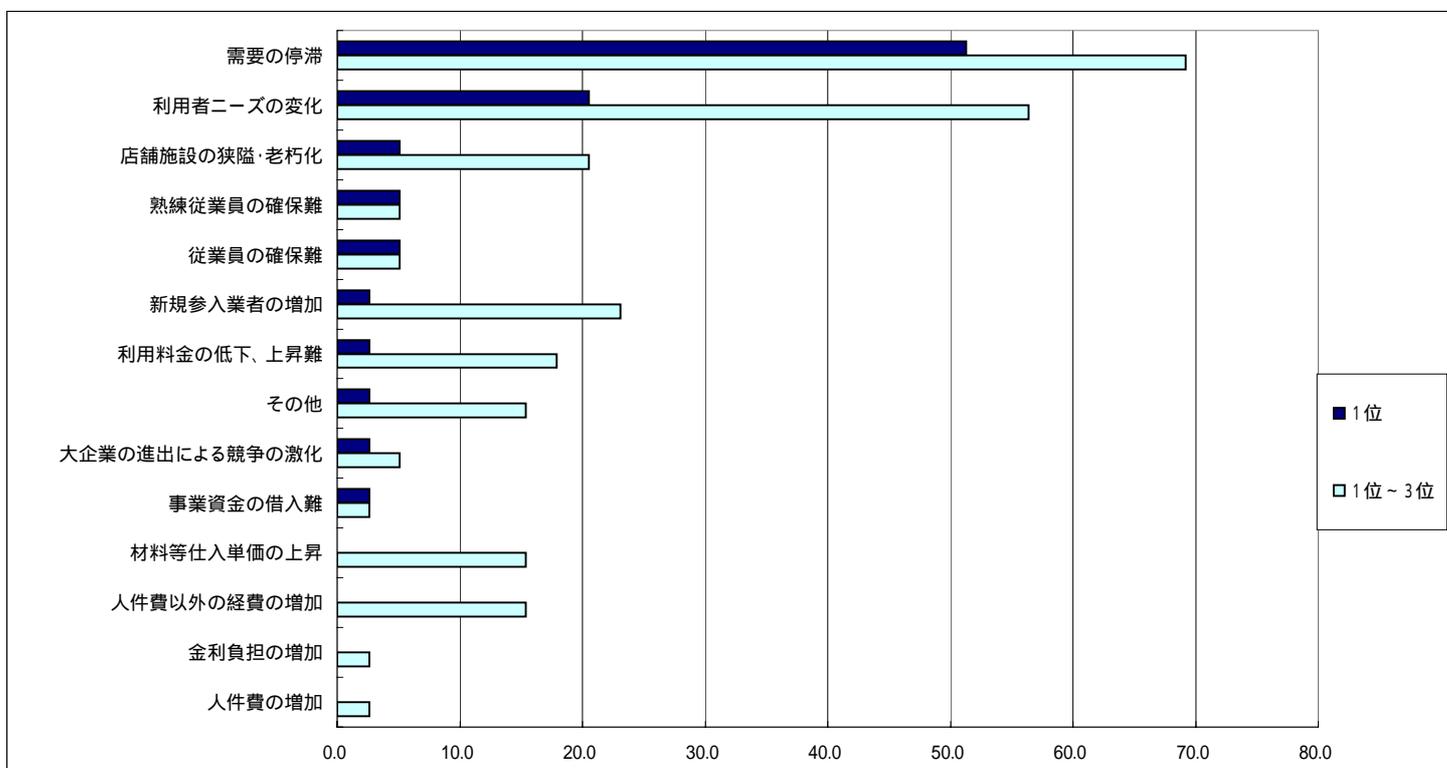
サービス業	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月	21年 10月～12月	22年 1月～3月	22年 4月～6月
土地	16.7%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	20.0%
車両・運搬具	0.0%	37.5%	18.2%	37.5%	33.3%	10.0%
サービス設備	33.3%	12.5%	27.3%	12.5%	33.3%	50.0%

22年1月～3月期については計画の数値を入力



計画については調査実施時期を基準に翌期の予定を記入のため折線グラフに期の差が生じる。

経営上の問題点



(注)問題点の1位にあげた企業の割合

京都府商工会連合会

京都市右京区西院東中水町17番地
(西大路通り五条下ル東側)

京都府中小企業会館四階

郵便番号 615-0042

TEL. (075) 314-7151

FAX. (075) 315-1037

e-mail:office@kyoto-fsci.or.jp